



CIMC セッション管理

- [CIMC セッション管理 \(1 ページ\)](#)

CIMC セッション管理

Cisco UCS Manager では、KVM、vMedia、および SoL セッションを表示および終了できます。管理者権限を持つユーザは、任意のユーザの KVM、vMedia、および SoL セッションを切断できます。Cisco Integrated Management Controller (CIMC) により、セッション情報が Cisco UCS Manager に提供されます。Cisco UCS Manager は CIMC からイベントを取得すると、そのセッションテーブルを更新し、すべてのユーザに情報を表示します。

セッション情報は次の情報で構成されます。

- 名前：セッションを開始したユーザの名前。
- セッション ID：セッションに関連付けられた ID。ブレードのセッション ID の形式は [unique identifier]_[chassis id]_[Blade id] です。ラックのセッション ID の形式は [unique identifier]_0_[Rack id] です。
- セッションタイプ：KVM、vMedia、または SoL。
- ユーザの権限レベル：読み取り/書き込み、読み取り専用、または付与。
- 管理状態：アクティブまたは非アクティブ。値は、セッションがアクティブの場合はアクティブです。セッション終了コマンドが発行されたがセッションが終了していない場合、値は非アクティブとなります。この状況は、サーバの FSM が別の操作で進行中である場合、または CIMC への接続が失われた場合に発生します。
- 送信元アドレス：セッションが開かれたコンピュータの IP アドレス。
- サービスプロファイル：セッションに関連付けられたサービスプロファイル。CIMC セッションのサービスプロファイルの属性値は、セッションがサービスプロファイルから提供された IP アドレスで開くときにだけ表示されます。
- サーバ：セッションに関連付けられたサーバの名前。
- ログイン時刻：セッションが開始された日時。

- 最終更新時刻：セッション情報が CIMC により更新された最終時刻。

新しいセッションは通常、ユーザが KVM、vMedia、または SOL に接続するときに追加されます。Pnuos vMedia セッションは、ユーザ名 `_vmediausr_` を使用したサーバ検出時にセッションテーブルに表示されます。

CIMC セッションデータは Cisco UCS Manager GUI の [CIMC Sessions] タブで使用できます。ユーザによって終了された CIMC セッションは、適切な詳細とともにログに記録された監査です。



- (注) このガイドに記載されている GUI および CLI タスクを実行するには、2.1(2a) 以上の CIMC イメージバージョンがブレードサーバのセッション管理サポートに必要です。1.5(11) 以上の最新の CIMC イメージバージョンが、ラックサーバに必要です。

ローカル ユーザにより開かれた CIMC セッションの表示

ローカル ユーザにより開かれたすべての CIMC セッション、または特定のローカル ユーザにより開かれた CIMC セッションを表示するには、このタスクを実行します。



- (注) 特定のサーバまたはサービスプロファイル オプションの CIMC セッションの表示は CLI ではありません。これは、GUI で可能です。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # scope security	セキュリティ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # show cimc-sessions local	ローカル ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションを表示します。
ステップ 3	UCS-A /security # show cimc-sessions local <i>user-name</i>	特定のローカル ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションを表示します。

例

次に、以下を表示する例を示します。

- ローカル ユーザにより開かれたすべての CIMC セッション
- 特定のローカル ユーザにより開かれた CIMC セッション

- 特定のローカル ユーザにより開かれた CIMC セッションの詳細

All sessions opened by local users:

```
UCS-A # scope security
UCS-A /security # show cimc-sessions local
```

Session ID	Type	User	Source Addr	Admin State
42_1_1	Kvm	admin	10.106.22.117	Active
4_1_5	Kvm	admin	10.106.22.117	Active
5_1_5	Vmedia	admin	10.106.22.117	Active

Session opened by a specific local user:

```
UCS-A /security # show cimc-sessions local admin
Session ID Type User Source Addr Admin State
-----
42_1_1 Kvm admin 10.106.22.117 Active
```

Details of session opened by a specific local user:

```
UCS-A /security # show cimc-sessions local admin detail
Session ID 42_1_1
Type: Kvm
User: admin
Source Addr: 10.106.22.117
Login Time: 2013-06-28T06:09:53.000
Last Updated Time: 2013-06-28T06:21:52.000
Admin State: Active
Priv: RW
Server: sys/chassis-1/blade-1
Service Profile:
```

リモート ユーザにより開かれた CIMC セッションの表示

リモートユーザにより開かれたすべての CIMC セッション、または特定のリモート ユーザにより開かれた CIMC セッションを表示するには、このタスクを実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # scope security	セキュリティ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # show cimc-sessions remote	リモートユーザにより開かれたすべての CIMC セッションを表示します。
ステップ 3	UCS-A /security # show cimc-sessions remote user-name	特定のリモートユーザにより開かれたすべての CIMC セッションを表示します。

例

次に、以下を表示する例を示します。

- リモートユーザにより開かれたすべての CIMC セッション
- 特定のリモートユーザにより開かれた CIMC セッション
- 特定のリモートユーザにより開かれた CIMC セッションの詳細

All sessions opened by remote users:

```
UCS-A # scope security
```

```
UCS-A /security # show cimc-sessions remote
```

Session ID	Type	User	Source Addr	Admin State
43_1_1	Kvm	administrator	10.106.22.117	Active
6_1_5	Kvm	test-remote	10.106.22.117	Active
7_1_5	Vmedia	test-remote	10.106.22.117	Active

Session opened by a specific remote user:

```
UCS-A /security # show cimc-sessions remote administrator
```

Session ID	Type	User	Source Addr	Admin State
43_1_1	Kvm	administrator	10.106.22.117	Active

Details of session opened by a specific remote user:

```
UCS-A /security # show cimc-sessions remote administrator detail
```

```
Session ID 43_1_1
Type: Kvm
User: administrator
Source Addr: 10.106.22.117
Login Time: 2013-06-28T06:09:53.000
Last Updated Time: 2013-06-28T06:21:52.000
Admin State: Active
Priv: RW
Server: sys/chassis-1/blade-1
Service Profile:
```

IPMI ユーザにより開かれた CIMC セッションの表示

IPMI ユーザにより開かれた CIMC セッションを表示するには、次の手順を完了します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # scope org <i>org-name</i>	ルート組織モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /org # scope ipmi-access-profile <i>profile-name</i>	IPMI アクセスプロファイル名を入力します。
ステップ 3	UCS-A /org/ipmi-access-profile # scope ipmi-user <i>user-name</i>	IPMI ユーザ名を入力します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	UCS-A /org/ipmi-access-profile/ipmi-user # show cimc-sessions	指定された IPMI ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションを表示します。

例

次の例では、IPMI ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションを表示する方法を示します。

```
UCS-A # scope org Finance
UCS-A /org* # scope ipmi-access-profile ReadOnly
UCS-A /org/ipmi-access-profile* # scope ipmi-user alice
UCS-A /org/ipmi-access-profile/ipmi-user # show cimc-sessions
```

Session ID	Type	User	Source Addr	Admin State
45_1_1	sol	alice	10.106.22.117	Active

サーバの CIMC セッションのクリア

このタスクでは、サーバ上に開かれたすべての CIMC セッションをクリアする方法を示します。セッションタイプとユーザ名に基づいて、サーバの CIMC セッションをクリアすることもできます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # scope security	セキュリティ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # terminate cimc-sessions server chassis-id/blade-id	シャーシの特定のブレードサーバの CIMC セッションをクリアします。
ステップ 3	UCS-A /security # terminate cimc-sessions server Rack-server-id	特定のラックサーバの CIMC セッションをクリアします。
ステップ 4	UCS-A /security # terminate cimc-sessions server server-id type session-type	サーバの特定のタイプの CIMC セッションをクリアします。
ステップ 5	UCS-A /security # terminate cimc-sessions server server-id user-name user-name	サーバの特定のユーザの CIMC セッションをクリアします。

例

最初の例では、サーバのすべての CIMC セッションをクリアする方法を示します。2 番目の例では、サーバの特定のタイプの CIMC セッションをクリアする方法を示します。3 番目の例では、サーバの特定のユーザの CIMC セッションをクリアする方法を示します。

```
UCS-A /security # scope security
UCS-A /security # terminate cimc-sessions server 2/1
This will close KVM sessions. Are you sure? (yes/no):yes
UCS-A /security
```

```
UCS-A # scope security
UCS-A /security # terminate cimc-sessions server 2/1 type kvm
This will close KVM sessions. Are you sure? (yes/no):yes
```

```
UCS-A # scope security
UCS-A /security # terminate cimc-sessions server 2/1 user-name test-user
This will close KVM sessions. Are you sure? (yes/no):yes
```

モジュラ サーバの CIMC セッションのクリア

このタスクでは、サーバ上に開かれたすべての CIMC セッションをクリアする方法を示します。セッションタイプとユーザ名に基づいて、サーバの CIMC セッションをクリアすることもできます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # scope security	セキュリティ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # terminate cimc-sessions server chassis-id / cartridge-id / server-id	シャーシ上の特定のモジュラ サーバ カートリッジの CIMC セッションをクリアします。
ステップ 3	UCS-A /security # terminate cimc-sessions server chassis-id / cartridge-id / server-id type session-type	サーバの特定のタイプの CIMC セッションをクリアします。
ステップ 4	UCS-A /security # terminate cimc-sessions server chassis-id / cartridge-id / server-id user-name user-name	サーバの特定のユーザの CIMC セッションをクリアします。

例

最初の例では、サーバのすべての CIMC セッションをクリアする方法を示します。2 番目の例では、サーバの特定のタイプの CIMC セッションをクリアする方法を示しま

す。3 番目の例では、サーバの特定のユーザの CIMC セッションをクリアする方法を示します。

```
UCS-A /security # scope security
UCS-A /security # terminate cimc-sessions server 1/2/1
This will close cimc sessions. Are you sure? (yes/no):yes
UCS-A /security

UCS-A # scope security
UCS-A /security # terminate cimc-sessions server 1/2/1 type kvm
This will close KVM sessions. Are you sure? (yes/no):yes

UCS-A # scope security
UCS-A /security # terminate cimc-sessions server 1/2/1 user-name test-user
This will close cimc sessions. Are you sure? (yes/no):yes
```

ローカル ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションのクリア

このタスクでは、ローカル ユーザにより開かれたセッションをクリアする方法を示します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # scope security	セキュリティ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # terminate cimc-sessions local-user <i>user-name</i>	ローカル ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションをクリアします。
ステップ 3	UCS-A /security # terminate cimc-sessions local-user <i>user-name</i> type {kvm vmedia sol all}	ローカル ユーザにより開かれた特定のセッションタイプのすべての CIMC セッションをクリアします。

例

次の例では、ローカル ユーザにより開かれた CIMC セッションをクリアする方法を示します。

```
UCS-A /security# scope security
UCS-A /security# terminate cimc-sessions local-user testuser
This will close cimc sessions. Are you sure? (yes/no):yes
UCS-A /security#
```

リモート ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションのクリア

このタスクでは、リモート ユーザにより開かれた CIMC セッションをクリアする方法を示します。

ローカルユーザにより開かれた特定の CIMC セッションのクリア

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # scope security	セキュリティ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # terminate cimc-sessions remote-user user-name	リモート ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションをクリアします。
ステップ 3	UCS-A /security # terminate cimc-sessions remote-user user-name type {kvm vmedia sol all}	リモート ユーザにより開かれた特定のセッションタイプのすべての CIMC セッションをクリアします。

例

次の例では、リモート ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションをクリアする方法を示します。

```
UCS-A /security# scope security
UCS-A /security# terminate cimc-sessions remote-user testuser
This will close cimc sessions. Are you sure? (yes/no):yes
UCS-A /security#
```

ローカルユーザにより開かれた特定の CIMC セッションのクリア

このタスクでは、ローカル ユーザにより開かれた特定の CIMC セッションをクリアする方法を示します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # scope security	セキュリティ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # scope local-user user-name	ローカル ユーザ モードを開始します。
ステップ 3	UCS-A /security/local user # terminate cimc-session session-id	選択した CIMC セッションをクリアします。
ステップ 4	UCS-A /security/local user* # commit-buffer	トランザクションをコミットします。

例

次の例では、ローカルユーザにより開かれた特定の CIMC セッションをクリアし、トランザクションをコミットする方法を示します。

```
UCS-A /security# scope security
UCS-A /security# scope local-user admin
UCS-A /security/local user # terminate cimc-session 6_1_2
UCS-A /security/local user*# commit-buffer
UCS-A /security/local user#
```

リモートユーザにより開かれた特定の CIMC セッションのクリア

このタスクでは、リモートユーザにより開かれた特定の CIMC セッションをクリアする方法を示します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # scope security	セキュリティ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # scope remote -user user-name	リモートユーザ モードを開始します。
ステップ 3	UCS-A /security/remote user # terminate cimc-session session-id	選択した CIMC セッションをクリアします。
ステップ 4	UCS-A /security/remote user*# commit-buffer	トランザクションをコミットします。

例

次の例では、リモートユーザにより開かれた特定の CIMC セッションをクリアし、トランザクションをコミットする方法を示します。

```
UCS-A /security# scope security
UCS-A /security# scope remote-user admin
UCS-A /security/remote user # terminate cimc-session 6_1_3
UCS-A /security/remote user*# commit-buffer
UCS-A /security/remote user#
```

IPMI ユーザにより開かれた CIMC セッションのクリア

IPMI ユーザにより開かれた CIMC セッションをクリアするには、次の手順を完了します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # scope org <i>org-name</i>	ルート組織モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /org # scope ipmi-access-profile <i>profile-name</i>	IPMI アクセス プロファイル名を入力します。
ステップ 3	UCS-A /org/ipmi-access-profile # scope ipmi-user <i>user-name</i>	IPMI ユーザを入力します。
ステップ 4	UCS-A /org/ipmi-access-profile/ipmi-user # terminate cimc-sessions <i>session-id</i>	IPMI ユーザにより開かれた特定の CIMC セッションを終了します。
ステップ 5	UCS-A /org/ipmi-access-profile/ipmi-user * commit-buffer	変更をコミットします。

例

次の例では、IPMI ユーザにより開かれた特定の CIMC セッションをクリアし、変更をコミットする方法を示します。

```
UCS-A # scope org Finance
UCS-A /org* # scope ipmi-access-profile ReadOnly
UCS-A /org/ipmi-access-profile* # scope ipmi-user alice
UCS-A /org/ipmi-access-profile/ipmi-user # terminate cimc-sessions 5_1_2
UCS-A /org/ipmi-access-profile/ipmi-user* # commit-buffer
```